

保険調剤薬局薬剤師を対象とした臨床薬剤業務研修（ご案内）

宮城県病院薬剤師会 地域連携特別委員会
（一社）宮城県薬剤師会 組織整備委員会

1. 研修の目的

医薬品の適正使用は、医薬品の特性はもとより、患者背景を理解して進める必要があり、特に患者情報を加味して個別に薬物療法を組み立てたり、副作用をモニタリングすることが求められています。また、院外処方に、臨床検査値を提供する医療施設も増えつつあります。本研修は、保険調剤薬局に勤務する薬剤師の方を対象に、病院での診療の流れを理解し、薬物治療管理を行う上で必要な情報の活用法およびチーム医療における薬剤師の介入の仕方を学ぶことを目的としています。

保険調剤薬局の薬剤師と病院薬剤師が、患者さんに有効で安全な薬物療法を共に考え、地域完結型の医療を組み立てて行くことを目指しています。

2. 本研修の特徴

- 1) 研修項目が選択可能：受講者のご希望に合わせて研修内容や研修日数、研修日などをカスタマイズできます。

研修内容は必修項目と選択項目に分かれており、研修目的に応じて研修期間を自由に組み合わせることが可能です。また、受講者の都合に合わせて曜日を指定することも可能です。さらに、研修対象の診療科を選択する*ことで、疾患ごとの治療の特徴を理解することが可能になります。

* 研修施設や診療科によっては選択できない場合もありますので、ご不明な点がございましたら事前にお問い合わせください。

2) 必修項目

研修項目	研修内容
オリエンテーション	研修の心構え、個人情報保護法などの研修のルールについて 部内見学、院内見学（手術部、放射線部、地域医療連携室など） (0.5 日)
調剤業務	治療の流れと薬歴および必要な検査値を活用した調剤（注射剤 調剤を含む）を理解する (0.5～1.5 日)
病棟業務 (診療科は選択可能)	診療科で治療方針の決定から、治療計画の作成に至るプロセス を経験し、病棟薬剤師の指導のもとに臨床検査値の見方、持参薬 管理、副作用モニタリング、薬剤管理指導、医薬品情報の収集・ 活用および退院時指導の内容および外来へ移行後の治療の注意 点等について学ぶ (2～3 日)

3) 選択項目

プログラム 番号	研修項目	研修 時間 [日]	研修内容
I	NST 基礎編 (病棟カンファ ランス)	0.5	カンファランス対象症例について予習の後、カンファランスに臨む。栄養アセスメント（臨床検査値の活用）、栄養療法の組み立て方および適切な投与ルートを選択について学ぶ。
II	NST 臨床編 (中央カンファ ランス)	0.5	NST 加算対象病棟以外の入院患者で、栄養管理が課題となっている症例について、医師、歯科医師、栄養士、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリテーションスタッフなどの専門知識を集約し、栄養状態の評価と具体的なサポート法について学ぶ。
III	外来がん化学 療法	0.5	レジメンの見方、各抗がん薬の特徴、治療計画、副作用の初期症状、有害事例発症時の対応について学ぶ。化学療法センターで薬剤師の患者面談に同席し、医師・看護師との連携について見学する。
IV	緩和ケア	0.5	医師、看護師と協働で、がん患者と家族の持つあらゆる苦痛に対する改善策と QOL 向上に向けた取り組みを学ぶ。緩和ケアチームカンファランスの後、回診に同行する。
V	WOC（褥瘡）	0.5	褥瘡対策において、チーム医療での各職種の役割を理解し、WOC ナースの指導のもとにスキンケアの方法、ストマおよび創傷管理を見学する。
VI	TPN 無菌調製	0.5	中心静脈栄養療法に使用する輸液製剤の特徴を理解し、腎機能低下患者や肝機能低下患者に対する基本の輸液メニューを理解する。併せて、無菌調製を経験する。
VII	抗がん剤 無菌調製	0.5	抗がん剤無菌調製を見学し、模擬バイアル等を用い、陰圧操作下での調製作業を経験する。
VIII	TDM（治療薬物 モニタリング）	0.5	抗 MRSA 薬や免疫抑制薬の血中濃度測定を見学し、患者の状態にあわせた最適な薬物投与設計について学ぶ。
IX	周術期薬物治療 管理（手術見学含 む場合は2日）	1	一般外科病棟業務（病棟薬剤師の指導のもとに術前中止薬の確認）、手術見学、ICU での業務研修を通じて周術期の薬物治療管理について学ぶ。
X	感染管理と 薬物治療	0.5	血培陽性ラウンドに参加し、抗菌薬選択の過程における薬剤師の役割を学ぶ。また、ICU、高度救命救急センターの重症感染症症例について、PK/PD に基づく治療を理解する。
XI	妊婦授乳婦相談 (事例紹介と演習)	0.5	薬品情報室において、これまで実施して来た妊婦授乳婦に対する介入事例をもとに、文献の調査方法および介入方法について演習を行う。

3. 研修例

1) 一般的な疾患を対象とした研修例（診療科選択）（5日間）

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
・オリエンテーション ・調剤業務	病棟業務 (診療科選択)	病棟業務 (診療科選択)	病棟業務 (診療科選択)	IX 周術期薬物 治療管理

2) 栄養療法を中心とした研修例（5日間）

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
・オリエンテーション ・調剤業務	病棟業務 (NST 算定病棟)	病棟業務 (NST 算定病棟)	VI TPN 無菌調製 I NST 病棟カンファ ランス	II NST 中央カン ファランス VWOC (褥瘡)

3) がん薬物療法を中心とした研修例（10日間）

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
・オリエンテーション ・調剤業務	病棟業務 (腫瘍内科)	病棟業務 (腫瘍内科)	III 外来がん化学療法 VII 抗がん剤無菌調製	病棟業務 (腫瘍内科)
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
病棟業務 (診療科選択)	病棟業務 (診療科選択)	VIII TDM 業務 (抗がん薬) IV 緩和ケア	IX 周術期薬物 治療管理	IX 周術期薬物 治療管理 (手術 見学)

4. 応募資格、研修費等

1) 応募資格：一般社団法人宮城県薬剤師会会員の保険調剤薬局に勤務する薬剤師

2) 研修期間：必修項目 3～4 日 選択項目を含めて最大 10 日間程度

※研修日程は、研修者の希望を考慮いたします。但し、チーム医療（NST や緩和ケアチーム）見学は、日程を指定する場合があります。

3) 研修費：各施設の基準による〔(例) 東北大学病院 1 日 5,000 円〕

*必修項目を他の施設で終了している場合には、選択項目のみ実施することも可能

5. ウイルス感染症の抗体確認について

医療関係者においても、「感染症をうつさない、うつされないために、予防接種で防ぐことのできる疾病 (Vaccine Preventable Disease; VPD) に対して、免疫を持つ必要がある」ことから日本環境感染学会から「医療関係者のためのワクチンガイドライン」が発行されています。医療関係者とは、病院内の医療従事者のみではなく、清掃員や実習生、教員に至るまでの全てを含んでいます。したがって病棟において患者さんに接触する可能性のある場合には、ウイルス感染症の抗体価やワクチン接種の有無を確認し、抗体価が低いあるいは、接種の既往がない場合には、ワクチン接種を行って頂いた上で受け入れを実施しております。つきましては、添付の「ウイルス感染症既往歴について」に必要事項を記入して下さい。抗体が陰性または弱陽性の方は、事前に予防接種を受けた上で研修に応募して下さい。

6. 薬剤師賠償責任保険の加入

研修施設（他施設）において研修中に不慮の事故により法律上の賠償責任を問われた場合の損害を補償する保険に必ず加入して下さい。

Ex.) 日本薬剤師会又は日本病院薬剤師会薬剤師賠償責任保険など

7. 申し込み方法

研修希望者は、宮城県薬剤師会へ申込みを行う。宮城県薬剤師会は、研修希望があった研修受け入れ標榜施設にその旨を連絡する。研修受け入れ可能な場合には、研修希望者は施設に別紙「ウイルス感染症既往歴報告書」を提出する。その上で、具体的な研修時期及び内容を施設と協議し研修内容を決定する。研修内容が決定した後、研修希望者は宮城県薬剤師会に、受け入れ施設は宮城県病院薬剤師会地域連携特別委員会に研修日程・内容等について報告する。

8. 申込先

・一般社団法人宮城県薬剤師会 組織整備委員会

担当：森川 昭正

〒989-3126 宮城県青葉区落合 2-15-26

TEL:022-391-1180 FAX:022-391-6640 E-mail: info@mypha.or.jp

9. 研修に関する問い合わせ

・宮城県病院薬剤師会 地域連携特別委員会

担当：遠藤 武弘（光ヶ丘スペルマン病院）

TEL:022-257-0231 FAX:022-257-0201 E-mail: pharm@spellman.or.jp

応募用紙

申込日：_____年____月____日

宮城県薬剤師会 殿

氏名	フリガナ				性別
		印			男・女
生年月日	年 月 日生 (満 歳)				
勤務先 (正式名称 を記載する こと)	フリガナ				
	施設名				
	連絡先 勤務先 or 自宅 (いずれか に○を付け て下さい)	住所	〒		
		TEL		FAX	
		E-mail			
薬剤師経験	保険調剤薬局での業務経験 _____ 年、 病院での業務経験 _____ 年				
認定の有無					
研修先の 希望	第一希望				
	第二希望				
加入賠償 責任保険					
その他					

◇応募用紙の提出先

一般社団法人宮城県薬剤師会 組織整備委員会
〒989-3126 宮城県青葉区落合 2-15-26

TEL:022-391-1180 FAX:022-391-6640
E-mail: info@mypha.or.jp

ウイルス感染症既往歴についての質問

フリガナ 氏 名		生年月日	年 月 日生 (歳)
職 業		記入日	年 月 日

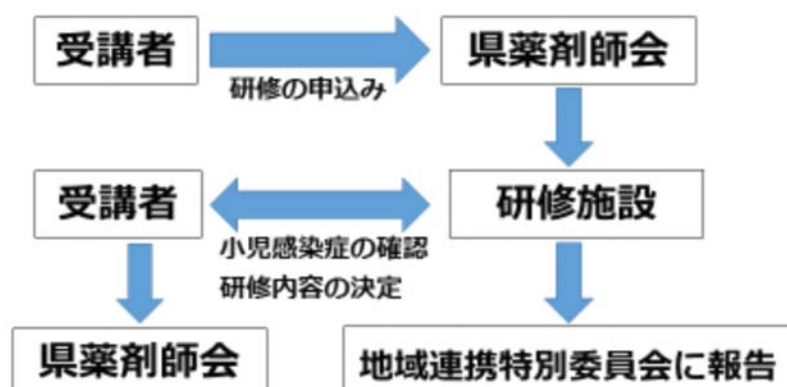
◇下記のウイルス感染症について、該当する項目に○印を付け、必要事項を記入して下さい。

(検査年月日等わかる範囲で記入)

疾患名	感染した	感染した 事がない	不明	ワクチン接種を 受けた (接種年月日)	抗体がある (検査年月日)
麻疹	(歳頃)			(年 月 日)	(年 月 日)
風疹	(歳頃)			(年 月 日)	(年 月 日)
水痘	(歳頃)			(年 月 日)	(年 月 日)
流行性 耳下腺炎	(歳頃)			(年 月 日)	(年 月 日)
結核	(歳頃)			BCG 接種 有 (頃) 無	ツ反の結果について 陽転(頃) 陰性

ウイルス	ワクチン接種 (接種年月日)	抗原・抗体検査結果 (検査年月日)			
		検査法	測定値	判定	
HBV	(年 月 日)	HBs 抗原	CLIA 法 凝集法		+ / - (年 月 日)
		HBs 抗体	CLIA 法		+ / - (年 月 日)
HCV	/	HC V 抗体			+ / - (年 月 日)

申込の方法



研修内容については、毎週水曜午後のみ等、施設と協議して決定可能
但し、手術や診療科カンファ等の参加には、施設側から指定されることもある。費用は施設によって異なるが概ね1日5000円程度

現時点での受け入れ可能施設

順次県病薬施設に拡大する予定

所属	委員氏名	内容について
東北大学病院	久道周彦	受入れ可
石巻赤十字病院	阿部浩幸	院内でのコンセンサスが得られれば受入れ可能。 調整必要
東北労災病院	菅野和彦	薬学生のいない時期でできれば集中して実施
仙台市立病院	成ヶ澤稔彦	院内でのコンセンサスが得られれば受入れ可能。 専門分野の内容や時期等は要相談
宮城県立がんセンター	鈴木幹子	受入れ可
みやぎ県南中核病院	田中 敏	院内でのコンセンサスが得られれば受入れ可能
石巻市立病院	石井勇太	開院したばかりなので、もう少し時間が必要。必修 項目であれば可能